



# 異界とのダイアローグ

多様な植物や動物たち、未知の自然と向き合って暮らした人々の感性と知性に学ぶトーク・セッション

## Part 1

### 山野にいきる一食・手仕事のアルケオロジー

世界中を旅し、長年にわたり山に生きる暮らしと手仕事を実践している遠藤ケイさんと、縄文時代の暮らし(食・祭事など)に詳しい宮尾亨さん。縄文時代から現代につながる暮らしの文化、山野に生きる技や工夫、その魅力などを縄文時代の遺跡の残る新潟市西蒲区福井の旧庄屋・佐藤家で語っていただきます。



遠藤ケイ

(イラストレーター・作家)



宮尾 亨

(縄文文化研究家/  
新潟県立博物館研究員)

日時：2015年9月27日(日)  
14:00～16:00 13:30 開場

会場：旧庄屋・佐藤家  
(新潟市西蒲区福井 564)  
専用駐車場有(無料)

定員：50名(予約不要・無料・当日受付順)



## Part 2

### 里、潟の「新潟」を撮る

地球上の知られざる地域の暮らしや祭事などを個性的な嗅覚で撮影しつづける石川直樹さんは今年、新潟市の西区・西蒲区を取材した写真集『潟と里山』を発表。写真・美術史の専門家であり、島文化にも詳しい伊藤俊治さんとともに、写真を通じて見える里や潟の風景、背景となる芸能史、写真家たちの試みなどを語っていただきます。

日時：2015年10月3日(土) 14:00～16:00 13:30 開場

会場：砂丘館(新潟市中央区西大畑町 5218-1) 駐車場無

定員：40名(予約不要・無料・当日受付順)



石川直樹

(写真家)



伊藤俊治

(美術史・美術評論家/  
東京藝術大学教授)

出演者プロフィール(50音順)

石川直樹(いしかわ なおき)：1977年東京生まれ。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、写真作品やエッセイを発表し続ける。

伊藤俊治(いとう としはる)：1953年秋田県生まれ。美術や建築デザイン、写真映像やメディアまで幅広い領域を横断する研究やプロジェクトを行う。

遠藤ケイ(えんどう けい)：1944年新潟県生まれ。民俗学的な考察をベースとして長年にわたり、人と自然の関わりや、職人の技を見つめながら新聞や雑誌で独自のイラストと文筆で作品を発表している。

宮尾 亨(みやお とおる)：1966年新潟県生まれ。文字記録のない先史、とくに縄文時代の人びとと社会を、土器や石器などの当時のゴミから研究。最近は食べ物への関心から縄文時代の食料や調理を探っている。

